

アジア・太平洋研究センター主催，外国語学部アジア学科共催講演会

日 時：2024 年 7 月 23 日（火）

場 所：南山大学 H 棟 2 階 H21 教室

テーマ：生成 AI を活用して学ぶ 台湾の時事問題

報告者：頼 振南（台湾・輔仁大学外国語文學院日本語文学系教授）



本講演会では生成 AI を用いた日本語教育に詳しい頼振南教授が，生成 AI を活用した外国語コミュニケーションおよび台湾の時事問題の学びについて講演し，その後，来場者との質疑応答を交えて総合討論を行った。

はじめに

大学の外国語教育プログラムは，日常生活を超えた高度な外国語コミュニケーション能力の育成を目指している。特に，新型コロナウイルスの影響で留学が困難になった現状において，言語生成 AI 技術が有効な解決策となることが示唆されている。生成 AI を利用することで，「聞く，読む，話す，書く，訳す」の五つの技能を鍛えることができ，高度なコミュニケーション能力の習得が可能となる。

ChatGPT と外国語（中国語）学習

ChatGPT は，外国語学習において以下の四つの主要な方法で活用できる。すなわち，会話練習，テキスト生成，文章添削，翻訳である。これにより，実践的な会話能力の向上，指定テーマに基づくテキスト作成，自作文の改善，言語間の翻訳が可能となる。ただし，ChatGPT が生成する内容には注意が必要であり，特に添削や翻訳で

はネイティブの感覚に合わない可能性があるため、慎重な使用が推奨される。2023 年 11 月からはスマートフォンアプリでも無料で利用可能となり、より手軽に外国語学習のサポートを受けられるようになった。

ChatGPT 3.5 の会話アプリの利点

ChatGPT 3.5 のアプリには、以下の利点が存在する。広範囲のトピックに対応できること、豊富な会話情報を提供できること、正確な聞き取りおよび会話の回答が可能であること、実際の人間の音声に近い応答が得られること、多様な会話場面を設定できること、多言語をサポートできること、言語学習の神器としての役割を果たすこと、迅速で便利な起動が可能であることなどである。また、TTSMaker や CapCut などの生成 AI 技術を含めたビデオ編集ソフトウェアを利用することで、音声、動画、字幕を含む自分流のビデオを作成することも可能である。

台湾の時事問題（2024 年 7 月 18 日時点、ChatGPT 4.0 使用）

現在、台湾で話題になっている時事問題や社会問題としては以下の内容が挙げられる。これらの問題は、台湾国内で大きな注目を集めており、地域および国際社会にも影響を与えている。

① 中国との緊張の高まり

2024 年 7 月 11 日、台湾は、中国軍用機が 24 時間以内に 66 機が台湾の防空識別圏内に進入したことを報告した。これは 2024 年で最も多い一日の進入数となり、台湾と中国間の緊張が増していることを示している。

② 台湾経済発展委員会の設立

行政院は「大台湾投資政策」を討議しており、これは外国投資家と国内資金が台湾の戦略産業に投資できるようにするためのメカニズムを提供する予定である。この新しい政策は市場秩序を乱さないように設計されている。

③ 中正紀念堂の変革

台湾の文化部は中正紀念堂から軍礼儀隊を撤退させ、蔣介石に対する個人崇拜と權威主義の宣伝を止める努力の一環としてこの措置を発表した。

④ 児童性虐待事件の調査

監察院は、台北市政府が元幼稚園教師による児童性虐待の疑いにとのように対処したかを調査している。この事件に対する対応の遅れが指摘されており、さらなる被害者が出た可能性があるという報告されている。

⑤ 移民労働者の送金限度額の引き上げ

金融監督管理委員会（FSC）は、移民労働者が台湾から送金できる年間の上限を引き上げる計画を発表した。これにより、移民労働者の経済的負担が軽減されることが期待されている。

将来の展望

言語生成 AI 技術の進化に伴い、その技術を外国語教育や専門分野で活かすことが可能となる。ChatGPT を活用することで、中国語学習を含むあらゆる専門分野の知識や情報、特定のプロジェクトについても、初心者であっても活用可能である。外国語学科の学生は、生成 AI 技術を最大限に活用することで、広い視野、自己学習能力、創造性を育成し、専門分野でより迅速かつ効果的に学び、活躍することが可能となる。

おわりに

時代に遅れないためには、以下の三つの要件を満たすことが重要である。まず、広い視野を持ち、何が重要かを判断する能力を養うこと。次に、自己学習の能力を強化し、独立して新たな知識を習得できるようにすること。そして、創造的な発想を持ち、自分の専門分野を魅力的に展開していくことである。生成 AI 技術を最大限活用して、これらを実現することが求められる。

以上の内容は、台湾の現在の時事問題を中心に、生成 AI 技術を活用した外国語教育の新しいアプローチを示している。生成 AI の進化に伴い、学習者は高度なコミュニケーション能力と専門知識を効率的に習得できるようになる。台湾を見るために唯一の正しい目というものが、果たして存在するのか。本発表では、まず外国を研究する理由について確認する。次に、日本から一般的に見えやすい台湾の姿に触れる。そして、日本から一般的に見えにくい台湾の姿に、話題を及ぼす。最後に、台湾を見るためにふさわしい目とは、課題に即した目なのであると指摘したい。

（文責：宮原 佳昭）